

2022年3月期 決算説明資料 (抜粋版)



第一実業株式会社

2022年5月24日

中期経営計画「FACE2021」 振り返り

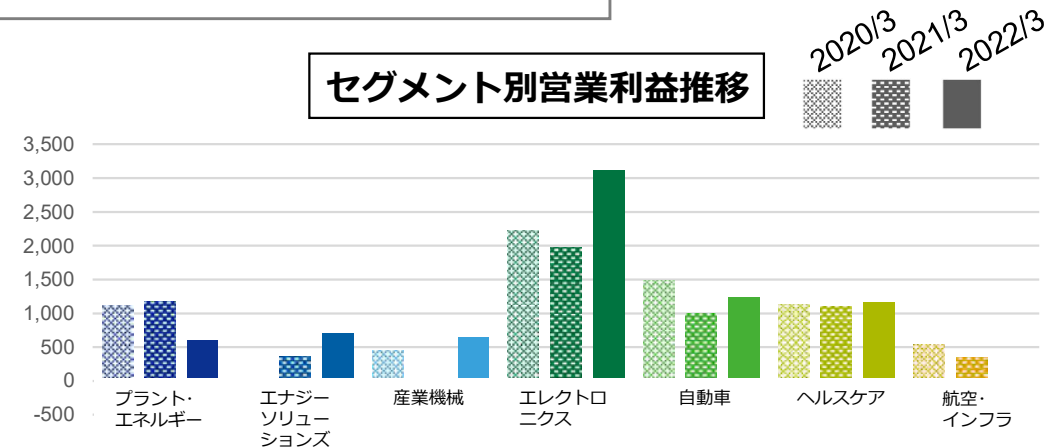
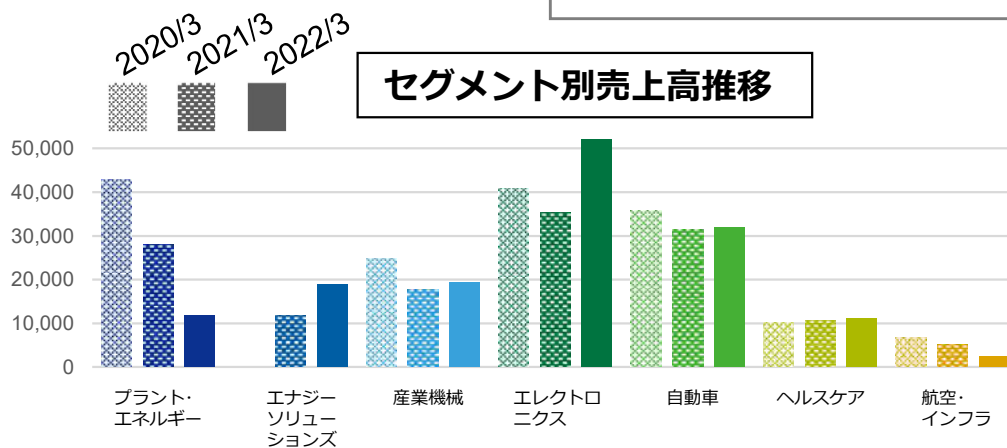
- 定量目標
- 定性目標

「FACE2021」 定量目標

単位：百万円	2020/3	2021/3	2022/3 実績値 (A)	FACE2021 計画値 (B)	差異 (A-B)	達成率 (A/B)
売上高	161,476	140,029	148,075	185,000	△ 36,924	80.0%
営業利益	6,998	5,729	6,866	8,300	△ 1,433	82.7%
経常利益	7,426	6,464	7,792	8,500	△ 707	91.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,876	4,754	5,363	5,700	△ 336	94.1%
ROE	10.4%	9.3%	9.6%	10.0% 以上	-	-

(注) 2022年3月期連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

- ✓ エレクトロニクス事業が3年間で業績に貢献
- ✓ ヘルスケア事業の業容拡大
- ✓ エナジーソリューションズ事業がビジネス拡大



1. 事業軸の進化と 収益力の向上

- 事業部の独立
(自動車、エネルギーソリューションズ)
- 業容の拡大
(ヘルスケア、航空・インフラ)
- 収益力向上は継続課題

2. 経営推進力の強化

- 経営企画本部の新設
- 成長に向けた基礎整備の完了
- 新人事制度の導入

3. 会社の「品質」向上

- ガバナンス委員会の機能発揮
- BBB+ (ポジティブ) 獲得

■ 新経営理念

- 新経営理念
- サステナビリティへの取り組み

ミッション
Mission
果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

ビジョン
Vision
あるべき姿

「次世代型エンジニアリング商社」

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、
当社のエンジニアリング機能を核として継続的な価値の提供により
グローバルにお客様事業の成長と持続可能な社会の実現に貢献します。

バリュー
Value
価値基準

信頼

社内外の関係者と協調し、ステークホルダーからの期待や社会的責任と当社目標を一致させながら、やりがい溢れ、個人が尊重され、成長を実感できる会社を目指します。

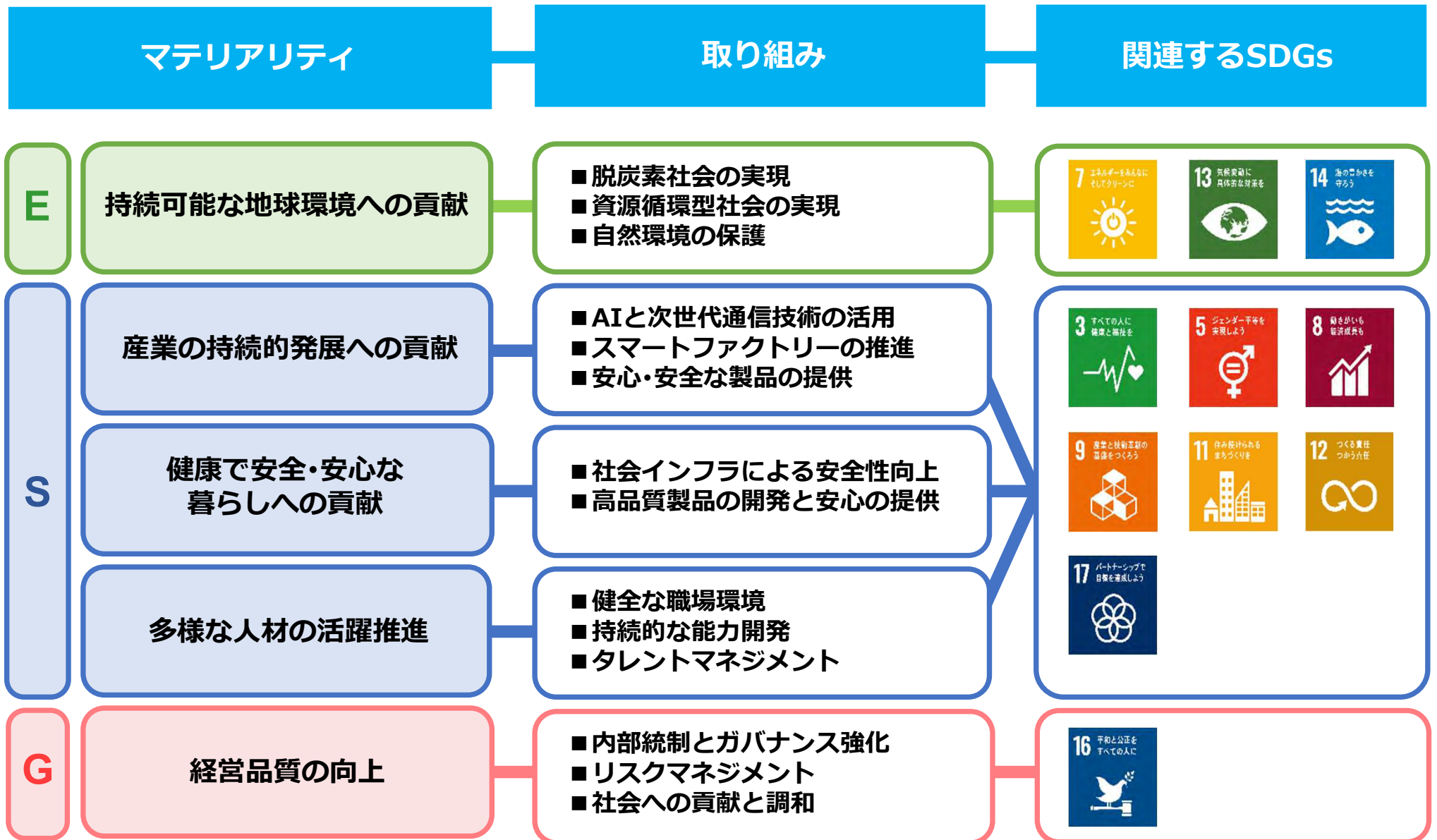
成長

独自のエンジニアリング機能によるモノづくりへの貢献とともに、積極的な成長市場への投資・事業領域の拡大により継続的な成長を目指します。

貢献

経営の透明性と会社の継続的な品質の向上を通じて、重要な社会課題に積極的に取り組むことで持続可能な社会の実現に貢献します。

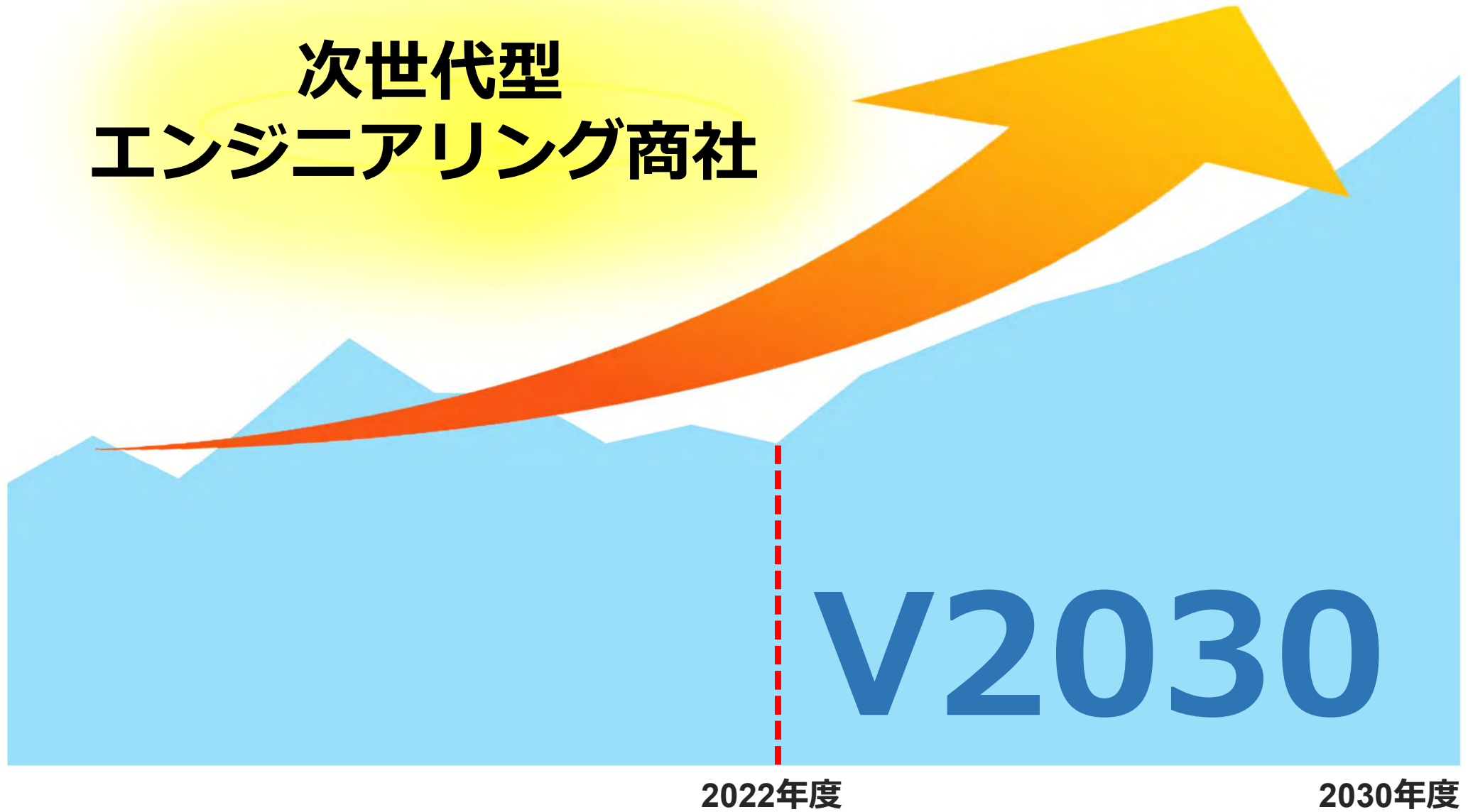
サステナビリティへの取り組み



■ 成長戦略「V2030」 (V : Vision)

- 成長曲線
- 基本戦略
- 投資戦略
- 定量目標

次世代型
エンジニアリング商社



1. 積極的な投資

- ビジネス拡大・強化・創出や社会課題の解決に向けた投資

2. PL経営 + BS経営

- 資本効率の改善で中長期的に収益を生み出す経営基盤の構築

3. マルチステークホルダーを意識した経営

- 重要課題への取り組みを通じた持続可能な社会の実現

4. モノ売りから「モノ×コト」売り

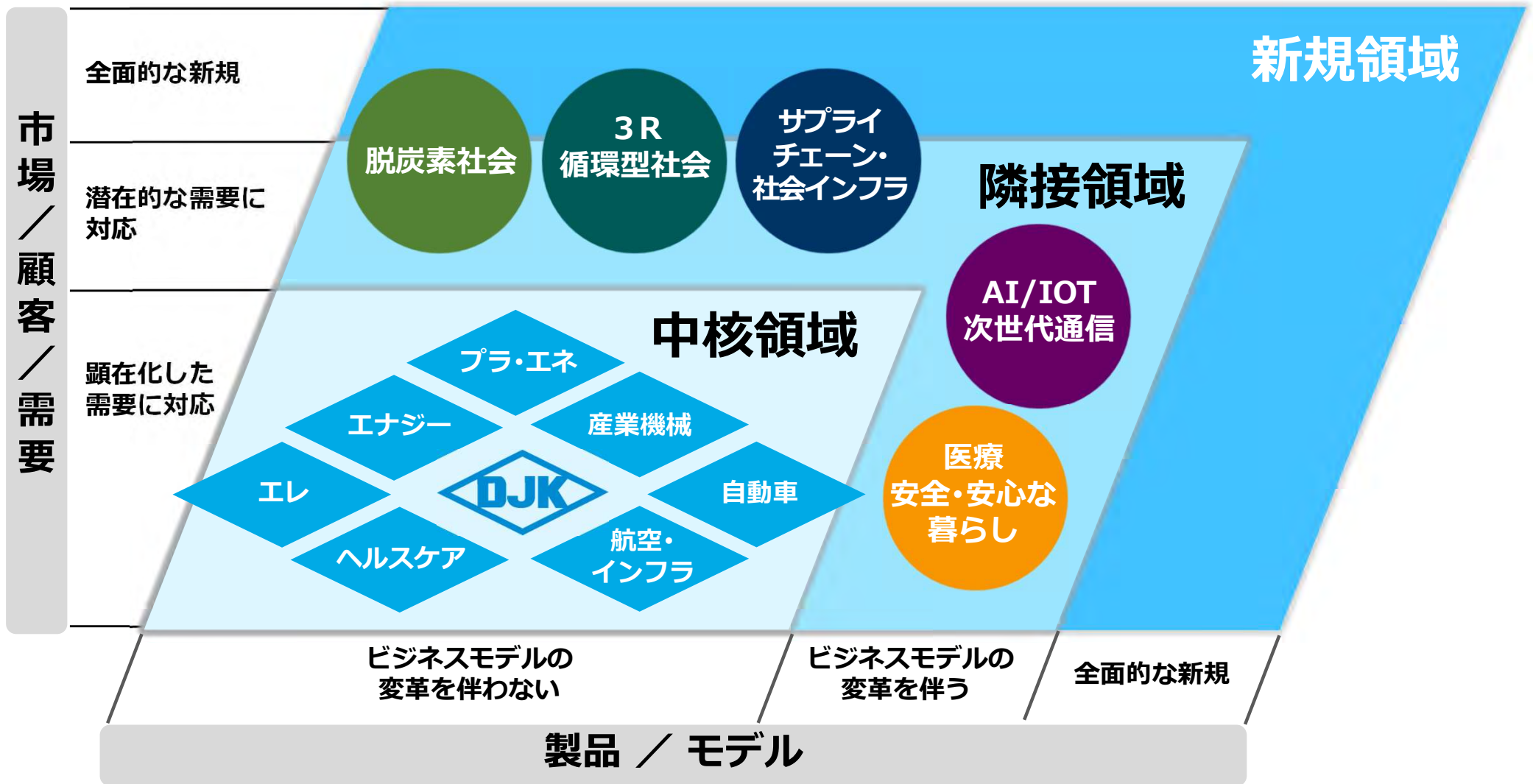
- サービスの埋め込みビジネス提案、サブスクモデル等

5. グローバルの成長を取り込む

- 外国籍企業との取引拡大

6. DX推進

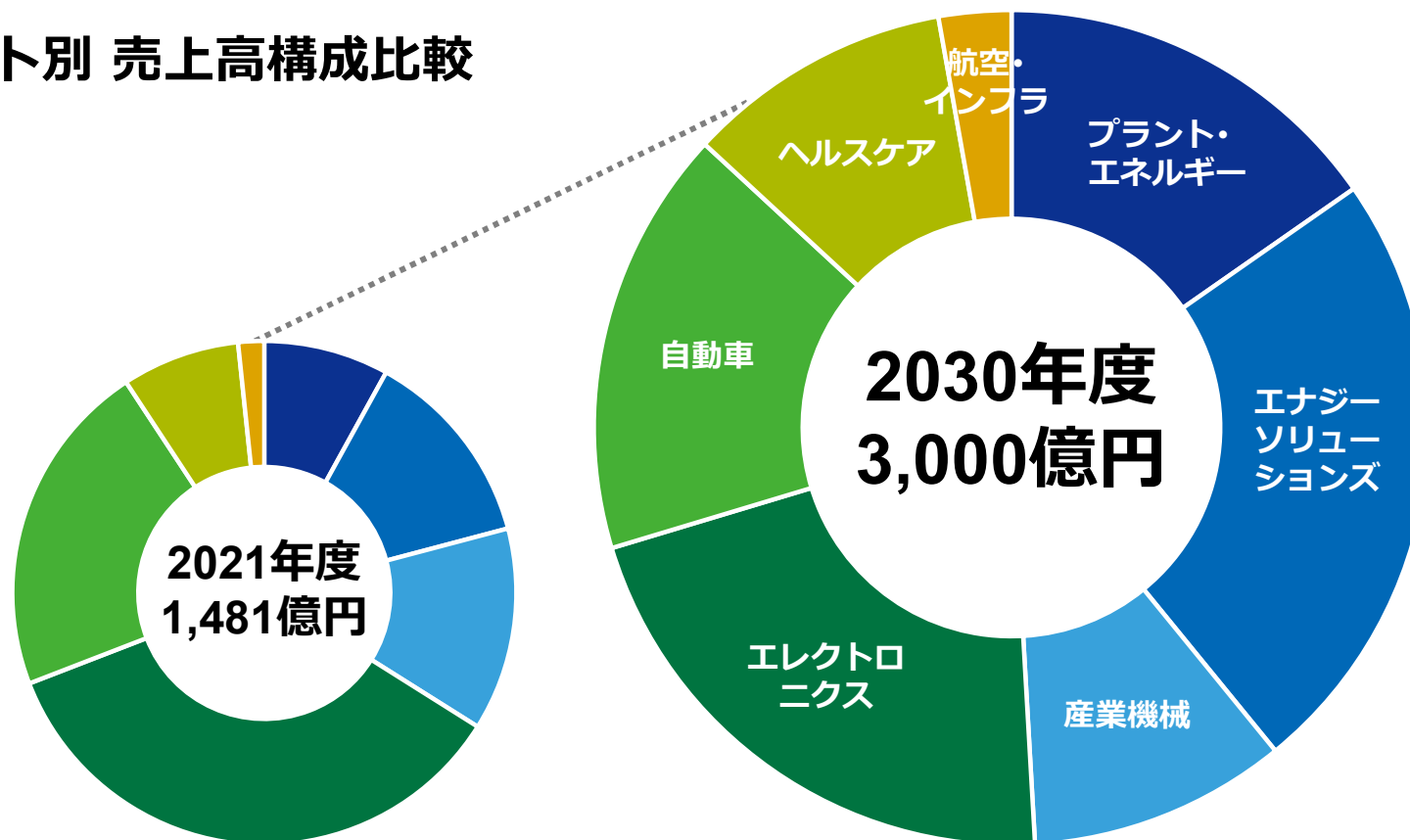
- 圧倒的な生産性の向上と革新的なビジネスモデルの創出



「V2030」 定量目標

売上高	営業利益	ROE
3,000億円	125億円	10%

セグメント別 売上高構成比較



■ 新中期経営計画「MT2024」

(MT : Medium-Term Business Plan)

- 位置付け
- 定性目標
- 具体的取り組み
- セグメント別 注カテーマ
- 定量目標
- セグメント別 計画値

「MT2024」位置付け

次世代型
エンジニアリング商社



「V2030」 基本戦略

1. 積極的な投資
2. PL経営+BS経営
3. マルチステークホルダーを意識した経営
4. モノ売りから「モノ×コト」売り
5. グローバルの成長を取り込む
6. DX推進

「MT2024」 定性目標

1. 成長に向けた事業戦略

- ① エンジニアリング機能の強化
- ② 戦略的事業投資
- ③ グローバル企業とのビジネス拡大
- ④ DX強化

2. 経営基盤の強化

- ① ガバナンスの深化
- ② リスクマネジメントの強化
- ③ 財務戦略の強化
- ④ 人材戦略の強化
- ⑤ サステナビリティ経営の推進

1. 成長に向けた 事業戦略

① エンジニアリング 機能の強化

- 「次世代型エンジニアリング商社」を目指し
当社独自のエンジニアリング機能を強化

② 戦略的事業投資

- 事業を通じた社会価値創出とともに成長に資する
戦略的投資

③ グローバル企業との ビジネス拡大

- グローバル経済成長を取り込むべく
海外拠点の人材・インフラ拡充で外国籍企業との取引拡大
- 主な事業分野と重点地域
エナジーソリューションズ事業（LIB関連：欧州・米州）
ヘルスケア事業（医薬品関連：東南アジア・インド）
産業機械事業（医療機器：米州）

④ DX強化

- デジタル技術を活用した業務効率化と生産性向上
- ビッグデータを活用した既存ビジネスの拡大と
AI・IoTの積極的活用による新規ビジネスの創出
- DX人材確保と社員のITリテラシーの向上

2. 経営基盤の強化

① ガバナンスの深化

- CGコードの対応を含む透明性の高いコーポレート・ガバナンスの確立

② リスクマネジメントの強化

- グループ全体の持続的な企業価値向上のため、企業運営に関連する多様なリスクを適切に管理・対応する体制強化

③ 財務戦略の強化

- 財務基盤の安定性を維持しつつ、成長投資等による収益構造改革の推進、資本効率の向上

④ 人材戦略の強化

- 人的資本に対する積極投資
- グループ全社員を含めた計画的な人材育成に向けた制度・仕組みの整備
- 高度専門性、多様性を目指した人材の育成・採用・登用

⑤ サステナビリティ経営の推進

- 経営理念、サステナビリティ基本方針に基づく社会価値と経済価値の持続的創出

プラント・エネルギー

社会的課題（脱炭素×DX×GX）解決に向け、国内外でのプラント、創エネルギービジネスの積極展開

エネルギーソリューションズ

次世代エネルギー分野におけるグローバル対応、エンジニアリング機能等の強みを生かしたさまざまなソリューション提供

産業機械

生分解性樹脂等の環境対応技術の提供やエンジニアリング機能を生かした、地球に優しい世界規模のサプライチェーンの構築

エレクトロニクス

中核事業の安定的成長とスマートファクトリー化の推進、物流自動化ソリューション「LOGITO」の提供

自動車

電動化、自動運転に伴う製品の変化をビジネスチャンスと捉え、カーボンニュートラルへの取り組みを加速

ヘルスケア

マシンエンジニアリング：競争力のある装置開発
プロダクションラインエンジニアリング：エンジニアリング業務拡大
ビジネスエンジニアリング：ビジネスの多様化

航空・インフラ

業界内の変化をビジネスチャンスと捉え、高付加価値、高効率な新商材開拓とサービスの提供

「MT2024」 定量目標

	「MT2024」			
	2022/3 (実績)	2023/3 計画値	2024/3 計画値	2025/3 計画値
単位：百万円				
受注高	154,702	170,000	180,000	200,000
売上高	148,075	140,000	170,000	185,000
営業利益	6,866	5,500	7,000	8,500
経常利益	7,792	5,800	7,200	8,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,363	3,900	4,800	5,800
ROE	9.6%	10%		

セグメント別 計画値

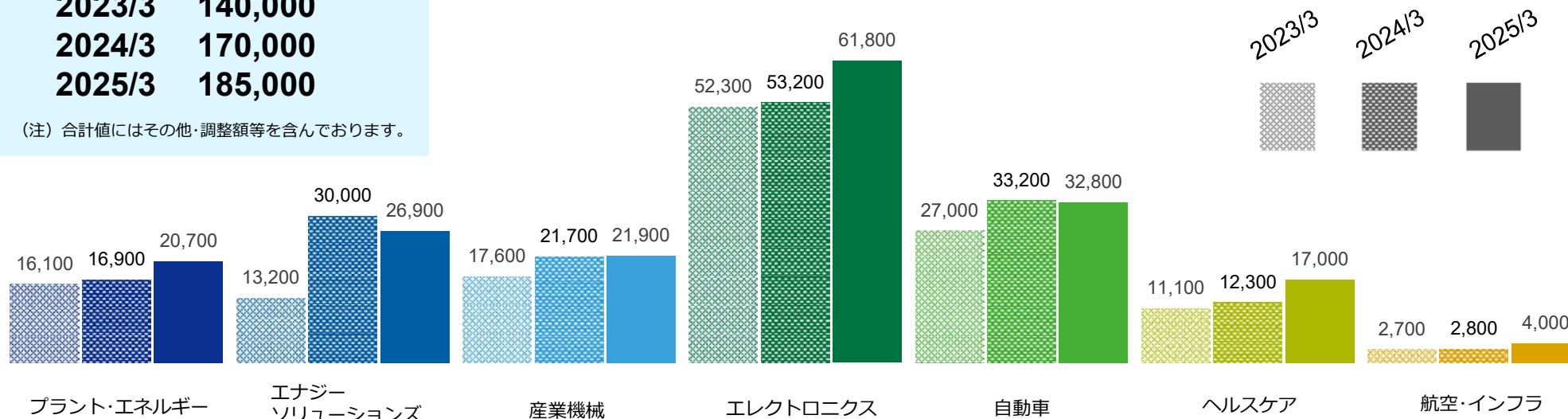
連結売上高合計 (百万円)

2023/3 140,000
 2024/3 170,000
 2025/3 185,000

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

売上高

単位：百万円



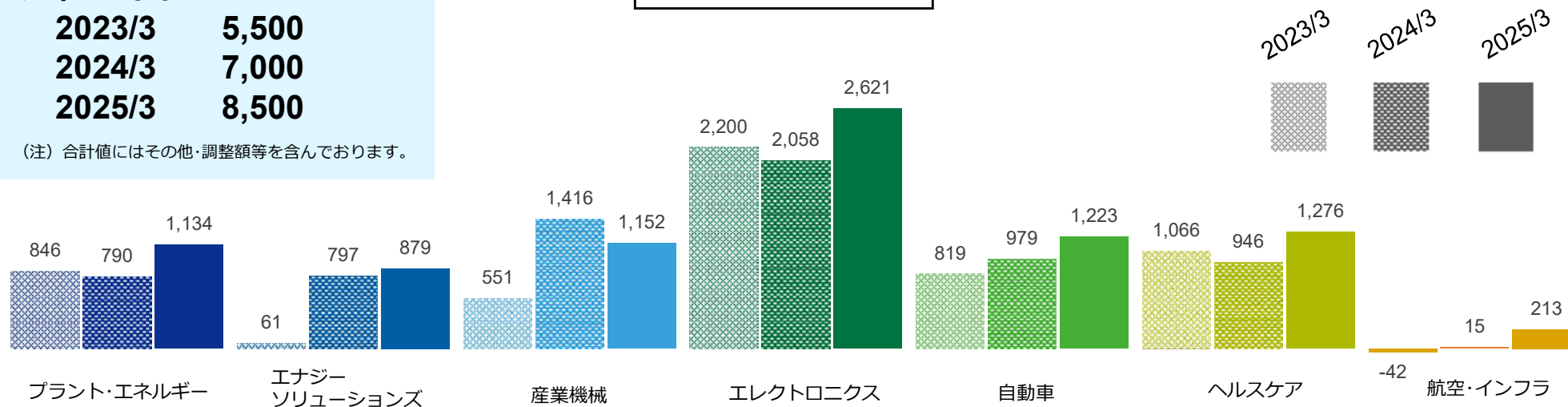
連結営業利益合計 (百万円)

2023/3 5,500
 2024/3 7,000
 2025/3 8,500

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

営業利益

単位：百万円





第一実業株式会社

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。